

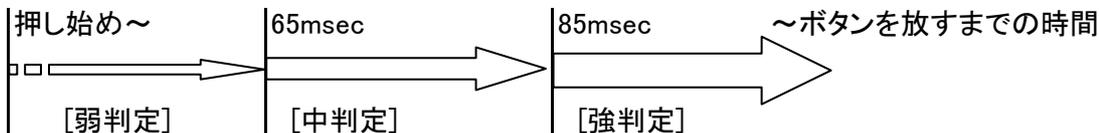
# タッチレスポンスもどきボタン【超遊星人ボタン】

## 【商品仕様】

超遊星人ボタンは動作モードが3種類用意されており、電源投入時のボタン操作で切り替えができます。

### ・互換モード(付属ハーネス使用)

本体ボタンの押した長さを判別して、弱・中・強の3段階の出力を、純正ボタンに合わせたタイミングで出力をするモードです。ボタンを押した長さが短いと「弱」判定、長く押すと「強」判定になります。



攻撃ボタンとジャンプボタンの2ボタン操作で、オリジナルに近い操作感覚でプレイしたい場合は、こちらのモードでお使い下さい。

### ・3ボタンモード(付属ハーネス使用)

外付けのボタンを2個追加接続する事で、弱・中・強の出力を別々のボタンに割り当てます。本体ボタンは「中」、外付けのボタン2個がそれぞれ「弱」と「強」に設定できます。

攻撃ボタン3つとジャンプボタン3つの6ボタン仕様で、オリジナルの操作とは異なりますが、確実な押し分けを行ってプレイしたい場合に有効なモードです。

## 【モード切替方法】

### ・3ボタンモードへ切替

外付けボタンの強ボタン入力を押したまま電源投入で3ボタンモードへ切り替わります。

### ・互換モードへ切替

本体ボタン(中ボタン)を押したまま電源投入で互換モードへ切り替わります。

電源を切っても設定したモードは記憶していますので、毎回設定する必要はありません。(商品お買い上げ時の初回デフォルトは互換モードに設定されています)

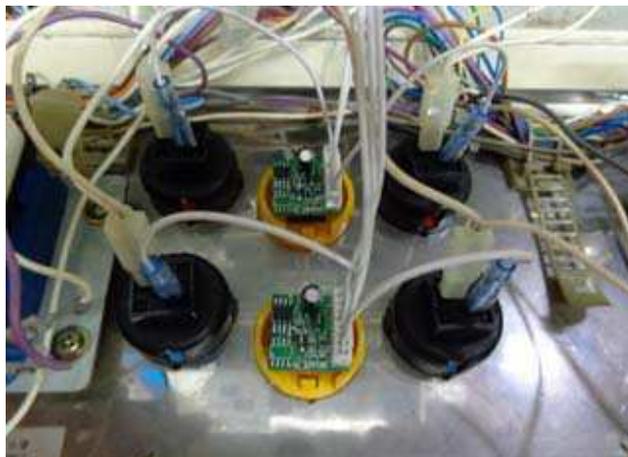
## 【ボタンの接続】

付属の専用ハーネスで超遊星人ボタンと基板のボタン入力コネクタ同士を接続します。追加配線やハンダ付け等は必要ありません。



※ベラボー基板サブボード上のコネクタ接続位置

- A: 1Pジャンプ
- B: 1P攻撃
- C: 2Pジャンプ
- D: 2P攻撃



3ボタンモードで使用する場合には専用ハーネスの1ピンおよび8ピンのファストン端子にそれぞれ外付けボタンを接続して下さい。

## 【接続ピン配置】

使用コネクタ：日本圧着端子製造(JST)製「PHR-8」

1:	弱ボタン入力	3ボタンモード時に外付けの弱ボタンを接続します
2:	-	-
3:	-	-
4:	GND	電源GND (ゲーム基板のボタン入力コネクタの1ピンへ接続します)
5:	(+5V)	通常は配線不要です
6:	スイッチ出力1	ゲーム基板のボタン入力コネクタの3ピンへ接続します
7:	スイッチ出力2	ゲーム基板のボタン入力コネクタの2ピンへ接続します
8:	強ボタン入力	3ボタンモード時に外付けの強ボタンを接続します

\*\*\*\*\*

### ●おまけモード(ブラック3ボタンモード)

本体ボタンの押した長さを判別して、弱・中・強の3段階の出力を、3本のそれぞれの信号線に出力します。  
ボタンを押した長さが短いと「弱」判定、長く押すと「強」判定になります。  
スト1の6ボタン版を専用筐体版のようにプレイしたいとか  
ストIIを2ボタンで変態プレイしてみたいなど、酔狂な方はお試しください。

### ・モード切替方法

超遊星人ボタンのコネクタ8ピン(モードセレクト)をGNDの接続した状態で、本体ボタンを押したまま電源を投入すると、おまけモードに切り替わります。  
※2回目以降の起動時はモードセレクトはGNDへ接続しないで下さい。

・おまけモードは付属ハーネスが使用できませんので、別途ハーネスの作成が必要です。

**配線が互換モード(3ボタンモード)とは異なりますのでご注意ください。**

1:	強ボタン出力	ゲーム基板の強ボタン入力コネクタへ接続します
2:	-	-
3:	-	-
4:	GND	ゲーム基板のGNDへ接続します
5:	(+5V)	通常は配線不要です
6:	弱ボタン出力	ゲーム基板の弱ボタン入力コネクタへ接続します
7:	中ボタン出力	ゲーム基板の中ボタン入力コネクタへ接続します
8:	モードセレクト	おまけモード切替時にGNDへ接続します。(2回目以降起動時は接続しないでください)

※おまけモードにつきましては、サポート対象外、動作未保証です。

\*\*\*\*\*

### ●商品のお問い合わせはこちらへ

いろいろや ひげねこ堂

URL: <http://www.higenekodo.jp>

MAIL: [info@higenekodo.jp](mailto:info@higenekodo.jp)